

研究課題名：神経変性疾患病理解剖時における脳病理組織の異常蛋白凝集と神経細胞死の疾患共通メカニズムについての研究

患者様医療情報の研究利用について

現在、パーキンソン病、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症等の神経変性疾患についてタウ蛋白、シヌクレイン蛋白、アミロイド蛋白などの特殊な蛋白が蓄積することが病因のひとつと指摘されておりますが、未だ正確な機序は不明で治療法への開発には至っておりません。それぞれの患者さんで、どのような特殊蛋白が脳神経細胞で多いか、どのような蛋白がそれぞれ関わっているかなど不明であり、それらを解明することでワクチン等の新たな治療法の開発が期待されます。この度、北里大学医学部脳神経内科学では、すでに患者さんからの剖検をお願いした方の組織の一部を上記目的のために解析させていただきます。

調査対象となるのは、1999年4月1日から2021年12月31日までに北里大学及び北里大学東病院で剖検を提供して頂いた被験者または被体提供者の方を対照とします。

本研究で調査する項目は、剖検脳における特殊蛋白の発現の解析です。これらの情報を分析・保存する上で、すべての患者の皆様は匿名化（名前が分からない状態にすること）され、氏名や住所などの個人情報は一切公表されることはありません。

収集したデータは、北里大学医学部脳神経内科学の研究室で分析され、研究実施期間中は施錠のできる戸棚に保管されます。今回の研究で得られた結果は、個人が特定されないかたちで、学会や雑誌などで報告されることがあります。

本研究の調査対象に該当する患者の皆様で、調査の参加に同意されない方は、下記の連絡先までお申し出ください。また、本研究に関して、質問などがございましたら、下記の連絡先までご連絡下さい。

〒252-0375

神奈川県相模原市南区北里 1 - 15 - 1

北里大学医学部脳神経内科学

研究代表者：西山和利

研究担当者：阿久津二夫，飯塚高浩，永井真貴子

：042 - 778 - 8722 Fax: 042-778-8722